

ホームページにアクセスしてください。
本学の情報をたくさん盛り込んでおります。
アクセスをお待ちしております。

<http://www.aitech.ac.jp/>

愛知工業大学同窓会 支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、連絡先等)
3. 支部別原案(見本を作成していますので、参考にご覧ください)
4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
5. 正式に支部として承認されましたら、支部別に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける

※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること
申込先

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
愛知工業大学同窓会事務局
TEL.0565-43-1032 (FAX共通)

愛知工業大学 同窓会機関誌 **みずわか**

発行日——2004.12.10

編 集——瑞若編集委員会

編集責任者—伊藤 雅

発行責任者—飯吉 僚

発 行——愛知工業大学同窓会

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel・Fax 0565-43-1032

印 刷——株式会社 大東社

〒494-0008 尾西市東五城字備前25
Tel 0586-62-1168 Fax 0586-62-1751



MIZU WAKA

Vol.37
瑞若会会報

愛工大が 「愛・地球博」へ 積極的に参加

2

CONTENTS

- 1 総長・新学長ご挨拶
- 5 経営情報科学部第一期卒業生が
瑞若会に仲間入り
- 7 2004年4月から学科を再編
- 9 入試のご案内
- 10 就職のご案内
- 11 キャンパスニュース
- 13 クローズアップ・プロフェッサー
- 15 出場!アテネオリンピック
- 17 AITオープンフォーラム
- 19 クラブニュース
- 21 がんばるOB
- 23 ホットボイス
- 25 同窓生からの投稿記事
- 28 事務局便り

愛知工業大学の更なる飛躍を目指して



学校法人 名古屋電気学園

理事長・総長
後藤 淳

瑞若会会員の皆様には、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、このたび瑞若会の理事会で会員各位のご推挙により、瑞若会名誉最高顧問の名をいただきありがとうございます。

さて、私はこの3月末日をもって大学長を辞任しました。振り返ってみれば32年余の歴史が走馬灯のように巡ってきますが、4月より総長に就任しましたので、これから愛知工業大学の飛躍を学園、大学と一緒に努力し、見守っていききたいと思います。

今年度(平成16年)から、全学的に学部・学科の再編成を行い、新たに「知能機械工学」、「コンピュータシステム」等専門的に学ぶ専攻を設けました。このため13号館の建設、さらに大学院に「経営情報科学研究科」の設置に取り組み、名古屋市内に本山キャンパスを建設し充実していきます。

一方、文部科学省の産学連携推進事業に「地震防災コンソーシアム」が選定され、研究プロジェクトがスタートしました。思いは多々ありますが、愛知工業大学の更なる発展を願う時代のニーズにあった新しい施策にも取り組みたいと思います。

最後になりましたが、教育・研究活動に対する厚いご支援に心からお礼申し上げますと共に、瑞若会の一層の発展と会員の皆様方のご健勝をお祈りいたします。

学長就任の抱負並びに瑞若会名誉会長就任のご挨拶



愛知工業大学

学長
後藤 泰之

瑞若会々員の皆様におかれましては、日頃から本学に対し、ご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、現在本学では、「工学、情報、ビジネス」という3つの分野に関する教育研究に取り組んでおります。工学は、本学の教育研究の原点であり、ものづくり、産業の根幹となる重要な分野です。情報、ビジネスについては、新しい経営手法の発展と伴に、より高度で専門的な教育研究が求められています。

特にこうした分野の教育について、「学生支援」という観点から、学生が主体となる教育システムの構築を目指しています。

また、平成16年度から各学科の専門性と基礎分野の共通性を明確にするために、学科再編を行いました。さらに、平成17年4月に経営情報科学部を基礎とする大学院の設置に向けて、文部科学省へ申請を行いました。

今後とも愛知工業大学の発展のために様々な取り組みを行ってまいりますので、会員の皆様の一層のご理解、ご助力を重ねてお願い申し上げます。

「愛・地球博」へ積極的に参加

愛工大では、2005年に開催される「愛・地球博」期間中にさまざまな会場参加や学内展示を予定しています。各界の著名人を招いた公開講座や独自性あふれる研究発表など、内容も盛りだくさん。皆様のご来場をお待ちしています。

「21世紀・万博大学」は、2005年4月から9月にかけて合計13回開講される公開講座。会場は大学10号館大講義室を予定しており、初回4月9日と最終回9月10日は万博会場内EXPOホールで開催されます(各回13時～)。講義の様様を多くの方に見ていただけるよう、新設の本山キャンパスと愛工大名電高校にも遠隔授業で配信されます。また、

初回と最終回はインターネットにより、姉妹校の中国・東南大学など海外へも配信されます。

受講者は、一般200人、学生200人の合わせて400人を予定。学生については、愛知県内73大学(短期大学含む)と単位互換を行い、他大学の学生も受講します。一般については公募により受講者を募ります。

●「21世紀・万博大学」

主催／愛知工業大学
後援／愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、瀬戸市教育委員会、豊田市教育委員会、長久手町教育委員会
「2005年日本国際博覧会協会」
名誉学長／豊田章一郎氏(2005年日本国際博覧会協会会長)
学長／後藤淳(愛知工業大学総長)

講座日程

講座	開催日時	講師名	肩書	講演テーマ(予定)
第1回 (初回)	4月 9日(土)	毛利 衛氏	宇宙飛行士、日本科学未来館館長	地球生命として未来への挑戦
第2回	4月16日(土)	野依良治氏	理化学研究所理事長(ノーベル化学賞受賞)	ノーベル化学賞への道
第3回	4月30日(土)	清水信義氏	慶応大学教授(ゲノム科学研究)	ヒトの設計図・ゲノムを極める
第4回	5月14日(土)	坂村 健氏	東京大学教授(コピキタス・ネットワーク研究)	どこでもコンピューターの時代
第5回	5月21日(土)	中村桂子氏	JT生命誌研究館館長(生命誌研究)	機械的世界観からの脱却 生命誌の視点
第6回	6月 4日(土)	遠藤守信氏	信州大学教授(ナノカーボン研究)	ナノテク:技術を越える技術
第7回	6月11日(土)	藤本義一氏	作家	人間再発見・情報に踊らされる人、情報で踊らせる人
第8回	6月25日(土)	C.W.ニコル氏	作家、ナチュラリスト	森と人間
第9回	7月 9日(土)	書馬輝夫氏	浜松ホトニクス社長	未知未踏よりビジネスへ
第10回	8月 6日(土)	須藤誠一氏	トヨタ自動車常務役員(ロボット開発担当)	パートナーロボットで未来を拓く
第11回	8月20日(土)	河合肇雄氏	京都大学名誉教授、文化庁長官(心理学者)	人間の心と社会のあり方
第12回	9月 3日(土)	涌井雅之氏	桐蔭横浜大学教授、愛知万博プロデューサー	地域遺産伝子としてのランドスケープ
第13回 (最終回)	9月10日(土)	梅原 猛氏	哲学者	自然の叡智・人間の知恵

一般社会人募集要項

●募集人数

- 1.愛工大キャンパス、EXPOホール開催会場
.....200名
- 2.愛工大本山キャンパス・サテライト会場
.....90名
- 3.愛工大名電高校・サテライト会場...90名

●申込コース

- 1.全13回コース 修了証・記念品を差し上げます。
- 2.オープンコース(ご希望の講義のみを受講)

●受講料

無料(第1回、第13回の万博会場への入場料は各自負担となります)

●申込方法

Eメール、はがき、FAXに万博大学受講希望

と明記し、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・携帯電話番号(お持ちの方)・メールアドレス(お持ちの方)とご希望の講義、ご希望の会場をご記入の上、下記へお申込ください。会場は1ヶ所のみとさせていただきます。

●申込締切

2005年1月15日必着
応募多数の場合は抽選となります。抽選の結果は2月末までにご連絡します。

●申込および問い合わせ先

愛知工業大学 万博大学事務局
〒470-0392 愛知県豊田市八千草1247
TEL0565-48-8121(代表)
FAX0565-48-9171
ホームページに申込フォームとFAX用のPDFを用意してあります。
Eメール banpaku@aitech.ac.jp

●万博会場参加「レスキューロボット」

機械学科の加藤厚生教授の指導のもと、環境適応ロボット研究室と生体工学研究室のスタッフが取り組んでいる“愛工大方式の探査型レスキューロボット”が参加します。3月25日から4月24日までの1ヶ月間、長久手会場のモリゾー・キッコロメッセで展示、実演を行います。参加するレスキューロボットは、約10cmのユニットを組み合わせることで、地形に合った移動形態を作り出せるのが特徴。先頭ユニットにはカメラを備え、映像を見ながら進行させるシステムとなっています。

●万博会場参加「LED発光風車モニュメント」

電気学科の一柳勝宏教授・雪田和人助教授の指導のもと、電力システム研究室のスタッフが取り組んでいる「LED発光風車モニュメント」が長久手会場・西ゲート入り口付近の屋外に、万博開催の全期間展示されます。モニュメントは高さ7mの支柱の上に2m羽根の風車を取り付けたもの。羽根には3色のLEDを1200個設置し、風車の回転に合わせて、文字や絵を表示するシステムです。全方向から風を受け、全方向から見ることができる“垂直軸型風車”を採用。電源は、風力と補助用の太陽電池だけ。環境万博にふさわしい展示です。

愛工大へのアクセス方法が変わります。

2005年春より「地下鉄藤ヶ丘駅」と「愛知環状線鉄道八草駅」が、東部丘陵線「Linimo」で接続。これに伴い、藤ヶ丘・八草間が約15分で運行されます。八草周辺では、新しい道路が整備されており、グリーンロード八草インターの隣に「八草東インター」が新設され、自動車での通学の場合は、このインターからも大学へ通うことができます。(「八草東インター」までは無料です。)



●学内展示「祭り山車の制作」

万博記念プロジェクトの一つ。都市環境学科の曾田忠宏教授、基礎教育センターの森豪教授、みらい工房スタッフの指導のもと、学生プロジェクトチームが取り組みます。製作には、高山市の中田建築工房の協力を得ます。製作する山車は、愛知県犬山市の「祭り山車・真先」をモデルとした、3分の1の模型で、2005年3月に完成予定です。万博期間中に大学構内で開催される「万博大学」「IDCロボットコンテスト」などのイベント展開に合わせ、学内で移動展示をします。

●学内展示「ソーラー知能飛行船」

電気学科の内田悦行教授、新宮博康助教授、都市環境学科の比嘉俊太郎教授、機械学科の内田敬久講師の指導のもと、学生プロジェクトチームによる企画。万博開催に合わせ、“ソーラー知能飛行船”を上げようという計画が進められています。浮力は、ヘリウムガスと太陽熱で空気を暖めるハイブリッド方式を採用。上空での電源は太陽電池。ビデオカメラとGPS装置を搭載し、瀬戸会場・八草駅周辺など愛工大からの風景をリアル映像で送信することも計画されています。飛行船のデザインは、大学のイメージキャラクター“鉄人28号”です。

経営情報学部第一期卒業生が瑞若会に仲間入り

平成16年度瑞若会理事会に於いて会則第7条が改正され、経営情報学部卒業生も晴れて瑞若会会員となることができました。学科別同窓会につきましては、1) まだ一期生しかいない、2) 世話人が決まっていない、等の理由により、当該学科出身の同窓生が新たに学科別同窓会を立ち上げる意志が固まるまで、暫定的に経営工学科同窓会に合流して活動することが理事会の席で確認されました。これは、経営情報学部が工学部旧経営工学科を改組して設置され

た経緯があるからです。理事会に先立ち第1回瑞若会総務常任委員会(5月27日開催)でも平成16年度より専攻制がスタートした関係もあり、学科別同窓会については3年後を見据えて検討していくことで了解されています。

瑞若会会長の祝詞が届いておりますのでご紹介すると共に、経営情報学科卒業生とマーケティング情報学科卒業生各の中から各2名の方の最近の動向を併せてお伝えします。

平成16年 経営情報学部 第一期卒業生

経営情報学科卒業

原澤 孝志

菱友システムズ(株)
中部支社 勤務

月に2回フットサルの練習で汗を流し充実しています

様々な人や技術に出会い、大きく成長した4年間

学生時代は部活やアルバイトなどから多くの友人に恵まれ楽しく過ごすことが出来ました。気の合う仲間、自分とは違う考えを持つ人など様々な人に触れていくことで成長してこれたと思っています。オープンキャンパスではドコモ東海とコラボレーションし、FLASHを用いて携帯のソフトを開発し実機で動かして披露するなど自分たちで考えた企画をやる事ができたことは大きな自信につながりました。パソコンに興味を持ち、大学で新しい技術を使った楽しみ方を知り情報系の仕事に就きたいと思うようになり

ました。あと人と関わって何かを成し遂げていくことが好きということもあり、この二つの点に合うような仕事をしたいと思っていました。

現在の仕事では常に新しい技術というのではなく昔ながらの安定した技術を保持していく作業というのがメインになっています。毎日仕事というよりも勉強している感じですがそれもまた、違う面白さがあります。これから先、知識や技術を習得するだけでなく、それを活かし纏め上げる仕事に就くことが目標です。

経営情報学科卒業

橋本 大輔

愛知工業大学大学院
生産システム工学専攻 在学

研究室にて

何事も勉強になる毎日です

学生時代、経営や情報理論について学びましたが、自分では本当に理解したのだからか、中途半端に終わってしまったのではないかとも思う一度、しっかりと勉強したい、学生時代に学んだことを更に伸ばしたいと思い大学院への進学を決めました。大学院ではファジイ理論を専攻しています。ファジイ理論とは「曖昧性」を研究すると勘違いされがちですが、実際は物事に含まれる「曖昧さ」を定量的に処理する数学的理論です。ファジイは年々広く社会に浸透し、定着してきています。例と

して、地下鉄の自動運転、原子炉や家電製品の制御などに用いられています。大学院の授業では、「より論理的に物事を考える」ということが大事になってきます。休み時間や授業の無いときに図書館へ本や資料を探しに行き、学生時代の勉強不足を反省しつつ、努力の毎日です。大学院を修了するころには、一人前の院生になれるよう日々頑張っています。

経営情報学部第1回卒業生の輩出を祝して



瑞若会会長

太田 修 (41E)

工学部のみであった愛知工業大学に経営情報学部が新設されたのが4年前の平成12年4月のことでした。そして今年、平成16年3月にめでたく卒業生を輩出し、瑞若会(愛知工業大学同窓会)に新たな風が吹き込まれました。瑞若会が昭和37年に発足して以来、工学部以外の学部からの同窓生を迎えるのは真に初めてです。名実ともに総合大学となった愛知工業大学同窓会にとって皆様のご入会を心待ちしていただけに感慨は一人であります。

さて、瑞若会には現在、職場支部同窓会、地方支部同窓会、学科別同窓会といった組織が存在し、様々な支部活動が盛んに行われています。皆様におかれましては、職場支部や地方支部への参加だけに留まらず、経営情報学科あるいはマーケティング情報学科の同窓生諸氏は是非とも学科別同窓会を立ち上げて、活発な同窓会活動を展開して頂けることを切に願う次第であります。

マーケティング情報学科卒業

川合 さやか

(株)プロンコピリー 勤務



お客様の喜ぶ顔を楽しみにして開発しています

念願の商品開発に携わっています

大学ではマーケティングを学び、知識を深めることができました。昔から料理が趣味で、商品開発(ものづくり)に興味があったので将来はそれに携わった仕事が出来ると考えていました。プロンコピリーでは若いうちから多くの仕事を任せられ、とてもやりがいがあります。職場はとてもチームワークが良く、誰かのミスをカバーする姿勢が社員やバイトのみんなにあります。まだ右も左も分からない立場ですが、先輩社員に支えられながら毎日楽しく仕事をしています。今はデザートの商品開発に携わ

っています。大学で学んだ市場調査やマーケティングが職場で活かされています。大学でアンケートもとらせていただきました。将来も本格的な商品開発の仕事を目指していきたいと思っています。私の考えた商品をお客様に喜んで食べてもらえるようにがんばっていきます。

マーケティング情報学科卒業

下村 大祐

愛知工業大学大学院
生産システム工学専攻 在学

訪中団で上海にて(中段右が下村氏)

ベンチャー企業を準備中です

学部時代は、とにかく多くの経験をしようという事へ挑戦しました。自転車同好会に所属し、北海道ツーリングや、大学祭の模擬店、駅伝大会などあらゆる行事に参加していました。また、一人暮らしの仲間が多かったので、冬は部室で鍋パーティー、夏はバーベキューを楽しみました。3年生の時にはマーケティング研究会という学科独自の研究サークルを立ち上げ、工科展へ参加しました。初参加ながら、14チーム中6位という評価も頂きました。3年生の夏休みには学生代表団として中国へ行きました。中で

も、東南大学の学生達との交流が一番思い出に残っています。日本語学科の人たちは、私達と普通に会話が出来てしまうくらい日本語が上手でした。彼らは、本当によく勉強します。訪中団がきっかけで、学内の留学生や研究員の先生方と交流をするようになりました。今でも、毎週月曜日の交流会に参加しています。現在、修士課程1年ですが、マーケティング・サイエンスという専門を活かしたベンチャー企業を準備中です。愛工大発ベンチャーを目指して頑張ります。

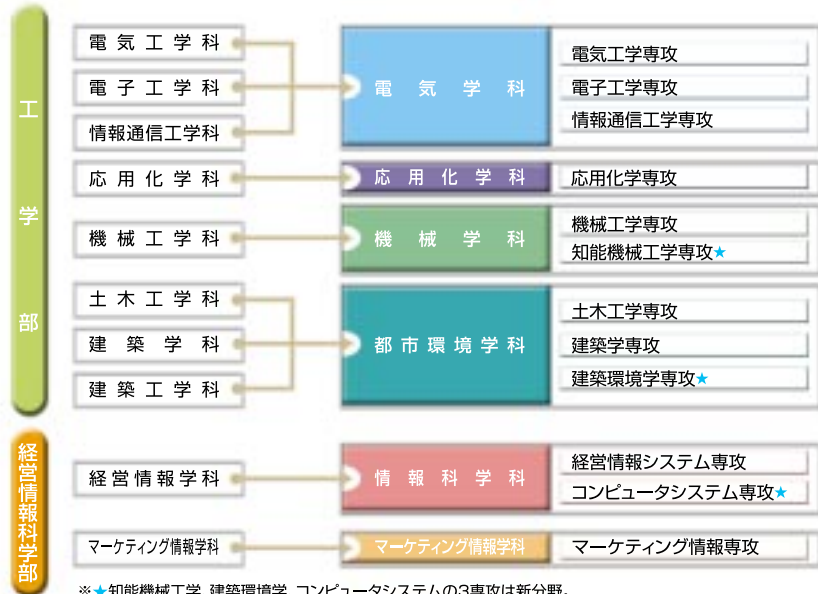
2004年4月から学科を再編

～教育・研究の学際化・広域化と先端技術の専門化に対応

国内外の産業界ではニーズの多様化と技術の専門化が進んでいます。また、教育や研究に世界においても、学際化や広域化に対応できる広範な知識と専門性を備えた人材の育成が求められています。

そこで愛工大では2004年度より学科再編を実施。2学部6学科12専攻の構成で、基礎分野はもちろん他学科と連携した学習が可能な新しい体制をスタートしました。

学科再編組織図



※★知能機械工学、建築環境学、コンピュータシステムの3専攻は新分野。
※募集はすべて専攻単位で行います。

各専攻の特色

電気工学専攻

電気学科

自然エネルギー、燃料電池などの新エネルギーによる発電技術や電気エネルギーの発生・輸送・分配技術を研究。また、電気エネルギー利用のためのパワーエレクトロニクス技術や超電導応用技術、電力と発電供給の新材料、電気エネルギーと地球環境など幅広く学びます。

電子工学専攻

電気学科

大規模集積回路、レーザーなどの「電子デバイス」、ハードウェアとソフトウェアを統合した「コンピュータとネットワーク」、高精度の計測器、自動制御などの「システムと制御」の3分野を柱に基礎から専門まで段階的に学びます。

情報通信工学専攻

電気学科

電気・電子技術と情報通信技術との有機的関連を重視。情報のやり取りと加工の基本原則を理解し、新しい情報通信網を構築できるハードウェアとソフトウェアの基礎を身につけたエンジニアを育てます。

応用化学専攻

応用化学科

化学の基本である物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、高分子化学の基礎を学習。また、21世紀のキーワードとなる環境化学や先端技術の開発を支える材料化学、機能化学に関して講義と実験を通じて身に付けます。

建築環境学専攻

都市環境学科

地球環境から室内環境まで、身の回りに関することを計画系、構造系、環境系の各分野について工学的な観点から総合的に学びます。「地球にやさしい」、「人にやさしい」、「災害に強い」生活環境を構成するために、新時代に適応した技術者を育成。

コンピュータシステム専攻

情報科学科

コンピュータソフトウェア全般を基本から理解し、将来のソフトウェア科学にも対応できる知識と技術を習得。これらの知識を応用した新ビジネスの企画・立案やシステムの問題解決方法なども学びます。コンピュータネットワークを利用した参加型授業を重視。

経営情報システム専攻

情報科学科

企業経営システムの成り立ちとコンピュータ情報技術を核とした管理・運用の技術について学習。経営管理系、情報システム系、最適化技術系の科目群から構成され、特にシステム管理・運用に必要な情報技術については、コンピュータの基礎から応用まで学びます。

マーケティング情報専攻

マーケティング情報科

マーケティング系、情報系、経営管理系の科目を中心に、世界の市場・産業・経済の動向を見定めて、原材料や完成品の調達または仕入れ、商品化、流通・付加価値創造に関するビジネスプランを企画・立案し実施できる人材を育成します。

機械工学専攻

機械学科

ものづくりに必要な、設計や加工、測定、制御、騒音・振動の防御、省エネルギー化などの基本的技術を、コンピュータを使いながら学びます。研究対象となるのは自動車や航空機、工場の生産機械、医療器械など身の回りにある全てです。

知能機械工学専攻

機械学科

ロボットの構造や動かし方、複雑なシステムを作り上げる方法のほか、コンピュータを使って現象を解析しその情報を処理する手法などを基礎から専門まで順を追って学習。講義に加えて少人数での実験・実習も多く取り入れています。

土木工学専攻

都市環境学科

市民生活を送るために必要な道路や橋、トンネル、港湾などの社会基礎施設（インフラストラクチャー）や水道、電気、ガスなどの生活関連施設（ライフライン）を企画・設計・施工するための工学を学習します。

建築学専攻

都市環境学科

建築設計・計画、建築歴史・意匠。建築環境・設備、建築構造・材料など、建築に不可欠な「芸術性」と「実用性」および「安全性」を総合的に学びます。特に建築設計製図の授業を重視し、アトリエごとに建築家や専任教員がマンツーマンで指導。



平成17年度入試説明会開催

平成16年5月19日、名古屋ガーデンパレスで高校進路担当教員及び進学塾担当者を対象に来年度の入試説明会が開催されました。本年度から学科を再編した愛工大の概要や大学全体の取組みのほか、近年の就職状況、卒業後の進路などについて各担当者が紹介。また、過去の入試を分析した次回入試問題の傾向と対策も解説し、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けました

スクリーンを使って愛工大の魅力を紹介

当日の主な内容

- 1) 本学の概要および取組みについて..... 石垣尚男 入試部長
- 2) 平成16年度入試結果から見た入試問題の傾向と対策... 荒木 淳 学習支援センター長
- 3) 平成17年度入試について..... 横井浩治 入試部入試広報課係長
- 4) 就職状況について..... 岩永弘之 就職支援センター長
- 5) 質疑応答



本学における学費減免について

愛知工業大学の学風を継承するために、本学では入学金援助制度を実施しています。本学卒業生の子女が入学した場合、あるいは本学卒業生・在校生の兄弟姉妹が入学した場合は、申請書を提出することで納入した入学金の半額を返金します。

平成17年度入試日程

入試制度	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
総合推薦	10/21~10/26	11/1	本学	11/10
一般推薦	10/29~11/4	11/14	本学	11/20
女子学生推薦	10/29~11/4	11/15	本学	11/20
前期日程一般	1/6~1/20	1/29・30・31	※1	2/6
前期日程奨学生	1/6~1/20	1/30	※1	2/6
センター利用一次	1/18~1/27	—	—	2/6
中期日程	2/1~2/9	2/15	※2	2/21
後期日程	3/1~3/7	3/15	本学	3/19
センター利用二次	2/25~3/9	—	—	3/19

※1 (1/30) 本学・名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・金沢・東京・松本・大阪・岡山・広島・北九州 (1/31) 本学・名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・金沢 (2/1) 本学
 ※2 本学・岐阜・津・浜松・大阪・富山

全学的な就職支援をしています

就職支援センターでは、全学的な就職指導として、就職ガイダンス(講演・パネルディスカッションなど)、就職適性検査、就職模擬試験(一般常識、基礎学力)、就職対策講座(SPI・エントリーシート・面接試験他)などを実施。また、本学支援組織「愛名会」の共催を得て、学内企業研究会および地元企業交流会を開催し、直接企業と接する機会を学生に与え、積極的な就職活動を推し進めています。

学生の能力を活かした就職指導

本学では、就職課による全学的指導と併せて、各学科の就職担当教員による就職指導を行っています。学科別のガイダンス、個人面談を通し学生をバックアップしながら、能力、適性に応じた進路を選択させるように指導しています。就職課と各学科でサポートする就職指導体制により、就職実績は各界から高い評価を得ています。

スピーディーな情報収集

本学にきている求人企業情報を就職課のWebサーバーに蓄積して、イントラネットによる「就職支援システム」を構築しています。このシステムにより、インターネットを使って、学内および自宅から求人企業情報の検索、就職情報会社や各企業のホームページにアクセスすることが可能です。
 URL <http://www.aitech.ac.jp/syusyoku/>

パソコンを利用できる就職資料室

就職課には、学生の就職活動をバックアップするために就職資料室を設置しています。資料室には、5,000社以上の企業ファイルコーナー、本学にきている求人企業検索ができるパソコンコーナー、就職に関する相談や悩みをアドバイスする相談コーナー等を設け、就職活動にあたり必要な情報を得ることができます。

平成16年度 就職支援スケジュール

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">7月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1回就職ガイダンス ● 就職模擬試験 ● 就職適性検査 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">11月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● エントリーシート攻略テスト ● 面接対策講座 ● 第4回就職ガイダンス 4年内定者の話
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">8月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 第2回就職ガイダンス (講演) 「就職活動～夏休みの課題」 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">12月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 第5回就職ガイダンス OB/OG(パネルディスカッション) ● 就職能力試験 ● エントリー試験 ● 自己表現テスト ● 就職作文試験
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">9月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職適性検査 ● フィードバック講演 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">2月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 面接模擬対策講座 (面接者1名対学生で実施) ● グループ面接模擬講座 (5~6名の模擬グループ討議面接) ● 学内企業研究会(愛名会)
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">10月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● SPI能力模擬試験 ● 第3回就職ガイダンス (講演) 「就職活動～勝つポイント」 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">3月</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元企業交流会 (四日市、富山、浜松、岐阜) ● 学内企業研究会(一般企業)

求人に関する
お問い合わせ先

就職支援センター 就職課

E-mail syusyoku@aitech.ac.jp

Tel 0565-48-4655 Fax 0565-48-6140

キャンパスニュース

愛工大では、今年も在学生を対象とした催しはもちろん東海三県下の子どもたちを招いたイベントを数多く開催しました。この一年の主な出来事をダイジェストでお知らせします。

まるごと体験ワールド

科学と知識の楽しさを実感

工学や情報科学などに関する実験で、小・中・高生の皆さんに「科学」を身近に感じていただけるイベントとして好評の「まるごと体験ワールド」。今年も7月31日、8月1日に開催され、数多くの参加者で賑わいました。

専門的な機器や耳慣れない用語に最初はとまどいの表情を見せた子どもたちも、実験が進むにつれて担当教員へ質問が飛び出すほど真剣に。「おもしろかった」「もっといろいろな事が知りたくなった」などの感想が聞かれました。

このイベントは夏休み期間を利用して開催が予定されています。事前申込みが必要となりますが、同窓生の皆さんもぜひ親子で参加してみたいかがでしょう。



手作り電池を制作



パソコンをドライバーで分解



親子で竹とんぼづくりに挑戦

プログラム

- 透過型電子顕微鏡で原子像に挑戦 ● 手作り電池で遊ぼう ● パソコン分解教室 ● コンピュータプログラミング入門 ● 川の生き物の観察会 ● 紙飛行機に挑戦 ● 紙でつくる建物模型 ● ロボットに挑戦 ● 生活の中の光と色について ● 愛ちゃんに挑戦 ● 竹とんぼを飛ばそう ● 電子楽器の製作

オープンキャンパス

総合工学研究会の
エコランカーに試乗

愛工大でのキャンパスライフを一日体験できるイベント、「オープンキャンパス」が8月3日に開かれました。当日は、受験を控えた生徒さんや、受験生を持つ保護者の方々に学内の施設や研究内容を見学していただけるような催しを展開。実験を中心とした学科専攻別デモンストレーションやAITプラザでの学食体験、クラブデモンストレーションのほか、昨年度の入試問題解答と対策のコーナー、個別相談会などに人気が集まりました。参加者は各研究室の教員や大学生たちと直に接することで、愛工大の魅力をより身近に感じる事ができたようです。



セメントコンクリートを型に流し込んでオブジェを製作



ロボットランサーと自動走行を体験

ロボカップジュニア愛工大大会



パソコンを使って試合前に動作を設定



ギャラリーの声援を受け白熱する試合

接戦が繰り広げられたロボット競技会

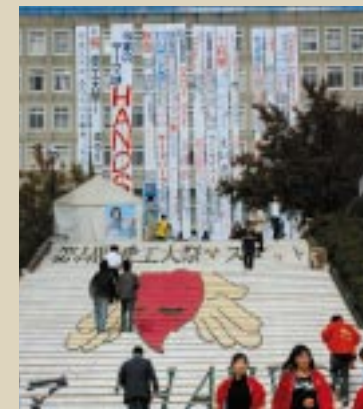
平成16年10月16日、小中学生を対象にした「ロボカップジュニア愛工大大会」が開催されました。これは子どもたちにロボット作りの楽しさを学んでもらうために、愛知工業大学と名古屋市科学館、中部科学技術センター、中部経済同友会などが中心となって企画したものです。

競技方法は、簡単に言えば「ロボットを使ったサッカー」。予想される場面に従って各ロボットの動きを子どもたちが独自に設定をし、攻撃用、防御用など役割を分担するなど戦略性の高いゲーム展開を見ることができました。優勝チームの正本力也君と川瀬雅大君らは東海大会への出場が決定しています。

愛工大祭

学生が企画する年に一度のお祭り

平成16年10月13日から17日まで、第44回愛工大祭が開かれました。今年のテーマは「HANDS」。メイン会場のセントラルパークでは多彩なステージイベントが開かれ、AITプラザ前の広場やストリートにも模擬店やフリーマーケットが登場。学生主催のイベントとして大いに盛り上がりました。



テーマ「HANDS」をモチーフにした階段

第3回 AITサイエンス大賞

独創的な研究・制作の成果を発表



関心を持ったテーマについてプロジェクターを使って発表

青少年に科学への興味・関心を喚起することを目的として「第3回AITサイエンス大賞」が開催されました。これは東海4県下の高校生から理科・科学クラブあるいは研究課題の成果を募って発表するもので、今年は合計37件のエントリーがありました。11月6日の発表会では、大講義室やAITプラザで各校が研究内容や制作物をプレゼンテーション。柔軟な発想と独自の工夫をアピールしました。審査の結果、自然科学部門では菊里高校の「フーリエ解析による蛇腹ホース発音の考察」が、ものづくり部門では岡崎高校の「AURORA～やっぱオーロラ見たくな～」が最優秀賞に選ばれました。

CLOSE UP
PROFESSOR

クローズアップ・プロフェッサー

日本が持つ
高い技術力を世界に
送り出し続けたい



工学部／都市環境学科 土木工学専攻
長瀧 重義教授



「日本は高いコンクリート技術を持っています」と語る長瀧教授

コンクリート研究者として学内外で活躍

長瀧先生は現在、愛知工業大学の工学部都市環境学科でコンクリート材料の高性能化やコンクリート用補強材などを中心に研究しています。

昭和35年に東京大学を卒業後、在学中に出会った恩師についていくことを決心し、コンクリート分野のドクターコースへ。昭和38年には東京大学工学部へ着任。以降東京工業大学、新潟大学などで教鞭をふるい平成14年から愛工大の総合技術研究所の客員教授を経て現職となっています。

学外における活動も精力的です。日本工業標準調査会委員兼土木技術専門委員会委員長、国土交通省・中央建設業審議会委員や(社)前田記念工学振興財団研究助成選考委員会・副委員長、など数多くの重要なポストを兼任しています。

世界で一流の技術を受け継いでいくために

長年、国内外でコンクリートに関わり続けてきた長瀧先生。「日本のコンクリート技術は世界のトップを走っています」と語ります。「例えば明石海峡大橋など、かつては不可能だと思われた建造物も今や実現しています。研究・開発が進むにつれて今後も大きな可能性を秘めた分野ではないでしょうか」。後進への期待も込めて力強くうなずきます。

一方で、日本の技術力の高さも「このままではいずれ衰退してしまう」と危惧。コンクリートの分野にも国際化の波が押し寄せていることを実感しているそうです。「それぞれの国のメソッドがあり、学ぶべき部分が多くあります。日本人も海外の技術者と競い合う位の気持ちで技術力を高めてほしい」と話します。

国際的競争力を備えた技術者となるためにも、「学生の皆さんには少しでも英語を身に付けてほしい」と語学力の重要性を強調。平成16年5月には(社)日本コンクリート工学協会会長に就任し、ご自身も海外とのネットワークを生かしながら、各国のコンクリートインスティテュートと交流を深めていく予定です。

さまざまな分野で活躍する愛知工業大学の先生方。今回はコンクリート研究の世界的権威、長瀧重義教授と「習熟度別授業」の新たな取り組みで教壇に立つ高木淳助教授をご紹介します。

大学の研究入門として
教養科目が重要な役割を果たす

高木先生は現在、基礎教育センター・自然科学教室の一員として教壇に立っています。

「大学生としての教養や論理的思考を養うための素地として、教養科目は非常に重要な科目だと私は考えています。愛工大では基礎教育センターという教養専門の体制が整っているため、これから大学での学問を始めようとする学生にとっても大きなメリットとなるでしょう」と話します。

学力に合わせた新しい
クラス編成がスタート

基礎教育センターでは物理・数学の科目において平成16年度から新制度「習熟度別授業」をスタートしました。一般入試や推薦入試、センター利用入試など入試制度が多様化し、学生の入学時の学力は必然的にバラつきが出てしまいます。基礎が理解できていないまま年度が進み、より高度な講義科目や研究に取り組みれば、ドロップアウトにつながりかねません。高木先生の担当する物理でもその傾向は顕著になっており、受け持っている学生のおよそ3分の1が物理・数学アレルギーを持っているそうです。

「習熟度別授業」では学生の学力別に編成した授業を実施しています。高木先生の授業では、カリキュラムの開始時に小テストをおこない、十分な学力を身に付けている学生とそうでない学生の数の比率を6:4に分けた2クラスで進めています。これは、必要な学力が不足していると思われる学生にできる限りきめ細かい指導を、という配慮です。「私の授業では毎週レポートの提出を義務づけているので、学生にとっては厳しい先生でしょうね」と苦笑い。「とはいえ、私のほうも毎週360人以上のレポートを採点し、評価しなければならぬので結構大変なんです。学力を身につけるために

教員と学生が正面から向き合えば
苦手科目も克服できる



基礎教育センター／自然科学教室
高木 淳助教授

学生が努力するならば、教員も汗をかかなければ、と思っています」と語ります。学生からも「レポートを書くことによって授業中に学んだことを復習でき、理解を深めることができます」と好評です。

物理という科目の特性上、数学の知識がなければ問題を解くことができません。これからは、大学での研究に最低限必要とされる要素として数学も重点的に指導していきたい、と意欲を燃やします。超電導材料と熱電変換材料の研究が専門の高木先生。特に熱電変換材料は最近研究を始めた新しい分野で、他大学との共同研究も進行中とのこと。教員そして研究者として、両方のさらなる活躍が期待されています。



実験器具を微調整

鬼頭明選手 アテネオリンピック 出場壮行会を開催



壮行会開始前



杉本安子さんより花束贈呈



ドイツ・ブンデスリーガのチームメイトと



平成15年の全日本卓球選手権で優勝

平成16年7月9日、名古屋ガーデンパレスホテルにて、鬼頭選手の壮行会が開催されました。学園同窓生や卓球関係者など約150人が参加したほか、愛工大卓球部OBとして、1969年に開催されたミュンヘン大会でダブルス世界チャンプの座を獲得した杉本安子さんが登場。花束と共に「いい旅をしてきなさい」との言葉が贈られました。また、鬼頭選手自身も「オリンピックは選手として集大成。学んだことを出し切って“一所懸命”臨みたいと思います」と決意を表明しました。

平成9年経営工学科卒業 鬼頭明選手

日本で数少ないプロの選手として注目を集めている鬼頭明選手。卓球を本格的に始めたのは、小学3年生の時に両親が趣味として楽しんでいたことがきっかけだそうです。

鬼頭選手は平成5年に愛知工業大学へ入学。在学中にも全日本選手権混合ダブルス二連覇や世界選手権大会日本代表などの輝かしい戦績を残しました。経営工学科を卒業後、時を置かずしてプロ化。日本でプロの卓球選手となったのは2人目です。その後、単身ドイツへ渡り、ブンデスリーガの3部でプレー、翌年は2部でプレーしました。ドイツをはじめヨーロッパでは日本よりも卓球熱が高いため、選手の技術もハイレベル。3部では2番手として活躍しましたが、1人分しかない貴重な外国人枠でエースとして出場した鬼頭選手の実力が伺い知れます。「リーグのルールの関係で、いつも相手の1番手と試合ができたのはとても貴重な体験でした」と当時を振り返ります。

帰国後は平成12年からスーパーサーキットに参戦し、国内で持ち前の華麗なプレーを披露。平成16年のアテネオリンピックではダブルスでの出場も果たしました。

「今後はチーム戦での戦績を伸ばしていきたいと思います」と今後の抱負を語ります。アテネ以降も世界を視野に入れた活躍が期待されています。

●鬼頭選手の主な戦績

1993年	国民体育大会成年 男子の部 優勝 全日本学生卓球選手権大会 男子ダブルス 優勝
1994年	全日本大学対抗 男子団体 優勝
1995年、96年	全日本選手権 混合ダブルス 二連覇
1997年	世界選手権大会(マンチェスター) 出場
1999年	全日本選手権 シングルス ベスト8
2000年	全日本選手権 シングルス ベスト16、男子ダブルス優勝
2001年	全日本選手権 シングルス ベスト8、男子ダブルス3位
2002年	ITTF Protourジャパンオープン 男子ダブルス 優勝 ITTF Protourグランド・ファイナルズ 男子ダブルス 準優勝
2003年	アジア選手権 混合ダブルス準優勝、東京選手権 男子ダブルス優勝、全日本選手権 男子ダブルス優勝
2004年	アテネオリンピック 男子ダブルス ベスト16

エクステンションセンター

くらしに役立つ最近の技術

栄中日文化センターとの共催で毎年開催されるAITオープンセミナー。第17回は、私たちの暮らしの中にどんどん入って来る新しい技術について。デジカメやロボットなどの最新技術やブランコのしくみについてなど、研究者・開発者と利用者からの両方の立場から解説しました。



第3日目はブランコのメカニズムをわかりやすく説明

- 第1日/7月3日 「体験的デジカメ情報整理術」 講師:機械学科 知能機械工学専攻 中原 崇文教授
 第2日/7月10日 「ここまで来た身近なロボット」 講師:機械学科 知能機械工学専攻 加藤 厚生教授
 第3日/7月17日 「ブランコはなぜ漕げる?」 講師:機械学科 知能機械工学専攻 安田 仁彦教授

「大学コンソーシアムせと」カレッジ講座開催

瀬戸市と周辺の6大学による新たな組織「大学コンソーシアムせと」が誕生。従来の大学連携の枠組みを超えて、大学と地域が協力してまちづくりや生涯学習の場を提供します。2005年春の本格的な始動に先がけて愛工大ではプレ事業を実施。7月10日～24日までの土曜日に「世界遺産を旅してみよう」と題し、世界の建造物について歴史的・文化的背景を交えて講義しました。



講師:都市環境学科 建築学専攻 杉野 丞教授

多くの参加者で賑わった瀬戸市中央公民館の会場

エクステンション講座を受講しませんか?

在学生や卒業生を対象に、資格取得・スキルアップを支援する実学的講座を開催。エクステンション講座は授業後及び長期休暇期間に開催されます。

エクステンション講座 開講講座の一部(2004年度)

講座名	開講期間	受講料		
TOEIC(後期)	10/26~1/14	29,000円		
初級システムアドミニストレーター	6/10~6/4、11/8~3/31	35,000円		
工業英検3級	9/13~9/16	24,000円		
基本情報技術者(秋季試験対策)	6/29~10/12	57,000円		
CAD利用技術者試験2級(前期)	5/7~6/9	29,000円		
マルチメディア検定2・3級	5/14~6/21	33,000円		
CAD利用技術者試験2級(後期)	10/21~11/11	29,000円		
CG検定2・3級	9/29~11/22	28,000円		
CAD利用技術者1級	8/25~11/6	49,000円		
パソコン総合基礎講座	6/5~7/10	12,000円		
MOUS試験Word	9/25~11/6	14,000円		
MOUS試験Excel	11/20~1/15	14,000円		
宅地建物取引主任者	5/19~10/7	53,000円		
MCP(マイクロソフト認定技術者)	8/2~8/11	65,000円		
2級建築士	9/30~12/22	25,000円		
Java SJC	8/26~9/1	65,000円		
福祉住環境コーディネーター2・3級	5/18~6/18	25,000円		
簿記検定3級	8/27~11/9	23,000円		
TOEIC(前期)	5/10~7/8	27,000円		
インテリアコーディネーター	5/20~10/7	27,000円		
電気主任技術者第3種	5/25~8/10	18,000円		
色彩検定2・3級	7/7~11/4	38,000円		
簿記検定3級	8/27~11/9	23,000円		
TOEIC(前期)	5/10~7/8	27,000円		
電気主任技術者第3種	5/25~8/10	18,000円		
簿記検定3級	8/27~11/9	23,000円		
TOEIC(前期)	5/10~7/8	27,000円		
公害防止管理者(水質関係)	5/22~7/10	20,000円		

AITオープンフォーラム

本学と同窓生・一般市民による「開かれた大学」

第45回 AITオープンフォーラム 平成16年8月28日(土) 岐阜会場(岐阜グランドホテル)

「色で売る戦略—カラーマーケティング—」

講師:経営情報科学部 マーケティング情報学科
マーケティング情報専攻 教授 石垣 尚男

カラーマーケティング(「色で売る戦略」)について、毎日の生活の中で目にする事例を中心に、また、色の基礎的な知識とカラーマーケティングの実例の紹介を交えて、カラーマーケティングが盛んになった理由、また、日頃私たちは無意識うちにさまざまな影響を受けており、まさに色はマーケティングの有望な戦略であるなど、興味深い講話がなされました。



第46回 AITオープンフォーラム 平成16年9月4日(土) 京都会場(京都タワーホテル)

「宮本武蔵と技術者—武蔵の「五輪書」に学ぶ—」

講師:基礎教育センター
総合教育教室 教授 森 豪

「大学の専門と教養(学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する)」「吉川英治の宮本武蔵」「司馬遼太郎の宮本武蔵」「バガボンドの宮本武蔵」、宮本武蔵の「五輪書」などをテーマに、著書からの引用を交えながら相違点などの紹介がなされ、比較文学を題材に興味深い講話が行われました。



第47回 AITオープンフォーラム 平成16年9月11日(土) 四日市会場(四日市都ホテル)

「東海・東南海連動型巨大地震について」

講師:工学部 都市環境学科
土木工学専攻 教授 正木 和明

東海地震、東南海地震及び南海地震について、特に東海、南海地震双方あるいは、両地震が連動して発生する巨大地震についての対策の方法、また、本三重県地区では、東南海地震の震源域は三重県熊野灘に設定されており、震度、津波とも大きな被害が想定され「防災対策推進地域」となっているなど、詳細な資料を交えて、最近の政府、学会の動きについて紹介され、地震が発生した場合にはどのような措置がなされるか、また、我々はどういう行動をとればよいのかについて講話がなされました。



平成16年8月から10にかけて、「AITオープンフォーラム」が開催されました。これは本学と各地域支部同窓会が連携して知識と交流の輪を広げようというもので、地震やインターネット、マーケティングなど多彩な分野のテーマが取り上げられ、担当講師がわかりやすく講話を繰り広げました。当日は多数の卒業生や一般市民が参加し、フォーラム後の大学、後援会、父母及び同窓会出席者の合同懇親会では和やかに交流を深めました。

第48回 AITオープンフォーラム 平成16年9月18日(土) 静岡会場(グランドホテル浜松)

「信(神)頼性工学的生き方」

講師:経営情報科学部 情報科学科
コンピュータシステム専攻 教授 中川 覃夫

「信(神)頼性工学とは一丈夫で長持ちするという性質」「物の寿命一全てに寿命がある」「勉強—信頼性工学的勉強術—」「生活—くらしに役立つ信頼性工学(?)—」「マネー戦略—アリとキリギリス—」等、確率などのデータや日頃我々が接するような資料を交えて、興味深い講話がなされました。



『静岡支部総会』開催 平成16年9月18日(土) 静岡会場(グランドホテル浜松)

同窓会(瑞若会)静岡支部16人の卒業生と大学同窓会本部から、石川貴之顧問をはじめ、他5人の役員が出席して、第6回支部総会が開催されました。石川顧問からの挨拶、大学の現状報告、大林 猛静岡支部長の挨拶の後、議長を選出し、総会次第に沿って議案が提議され、審議の結果、それぞれ承認され、引き続き、平成16年度静岡支部が運営されることとなりました。



第49回 AITオープンフォーラム 9月25日(土) 岡山会場(岡山ロイヤルホテル)

「パソコンやインターネットのトラブル解消術」

講師:経営情報科学部 情報科学科
経営情報システム専攻 教授 近藤 高司

IT革命「インターネットによるIT革命」「e—JAPAN」などに始まり、コンピュータウイルス、サイバーテロ、個人情報漏洩事件など様々なトラブルが頻発している状況など、私たちの一般生活に深く入り込んだインターネットが引き起こすトラブルとその対応策について、事例の紹介を交え解説がなされました。



第50回 AITオープンフォーラム 10月2日(土) 金沢会場(ホテルイン金沢)

「人にやさしい住まい・街」

講師:工学部 都市環境学科
建築環境学専攻 教授 建部 謙治

高齢化社会を迎えて、私たちはどのような住み方、暮らし方が求められているか、また、障害者などの自立生活が送れる住まい、自由に移動できる街の仕組み等について、高齢者や障害者などの立場に立って、「みんなもこんな事で困っている」「住みやすい住宅改造」「出かけたくなる街」「これからの住みづくり、街づくり」などをテーマに講話がなされました。



ラグビー部

部員30名

主将
高橋 健



ラグビー部は選手26名、マネージャー4名と少ない人数でがんばっています。部員もスポーツ推薦で入部してきた学生も少なく、大学で初めてラグビーボールに触れた選手もいれば、ラグビー歴が10年を超える選手もいると様々ですが、人数が少ない分、仲良く楽しくやっています。練習は監督が決めた練習をするのではなく、選手自ら練習メニューを決めてのびのびとやっていますが、楽しむだけの部活ではなく厳しいことも積極的に取り組んで勝利をめざす練習をしています。その結果03年度東海学生ラグビーリーグで80名を越す部員で作られるチームも参加する中、準優勝という成績を残すことが出来ました。また2回目の全国地区対抗ラグビー大会でもベスト4と03年度は充実した1年を過ごすことが出来ました。今年度の目標は初の東海制覇、そしてその先にある大学選手権初出場です。チーム一丸となって目標に突っ走って行きますので応援よろしくお願いします。一度試合会場に足を運んでもらえると光栄です。

創部初!03年度 東海学生 ラグビーリーグ戦 準優勝!



上)皆で決めた練習なのでやり甲斐があります
下)このメンバーで東海制覇が目標です



フェンシング部

部員22名

主将
富田 弘樹



03年度 全日本学生選手権大会 団体準優勝!

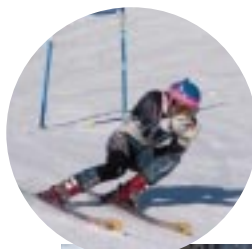
愛工大フェンシング部は、03年度、全ての種目において全国の大会に出場し、上位に名を連ねることが出来ました。「何事も中途半端では達成できない」という監督の考えの下、毎日しっかり練習をしてきた成果だと思います。部の雰囲気も明るく、楽しいメンバーばかりですが、練習、試合となると真剣に取り組んで一生懸命汗を流しています。また、春と夏の年2回の合宿を内容の濃い充実したものにすることができ、ハンガリー・フランスと海外にも遠征し、海外のレベルの高さを肌で感じる事ができました。目標は常に全国制覇です。これからも愛知工業大学フェンシング部の歴史と伝統を守り続け、日々精進して頑張っていきたいと思います。

上)ハンガリー遠征にて
下)明るく楽しく練習は厳しく。全国制覇を目指してます

競技スキー部

部員11名

主将
大口 潤



中部日本学生スキー選手権7連覇を記念して

中部日本学生スキー選手権男子部 総合七連覇!

岐阜、長野、富山、愛知出身の選手11名で活動しています。人数は少ないですが、各自プライドを持って練習に励んでいます。春から秋は学内での筋力トレーニングや陸上トレーニング、冬は岐阜、長野、北海道への遠征で技術を磨いています。今年度は中部日本学生スキー選手権八連覇を目指し、競技スキー部の名を汚さないように地球温暖化が進む中、頑張っていきたいと思います。

設立から20数年! 愛工大初の歴史ある PCサークルです。

システム工学研究会は情報化社会を見据え、情報通信やCGなどPCを駆使して技術の向上を目指しています。今年は文化庁主催の学生CGアートコンテストに参加すべく、大型コンピュータを導入して頑張っています。また部員同士の仲も良く、旅行に行ったり、ドライブに行ったり学生生活を楽しむことも忘れません。大学祭にも積極的に参加し、大学祭に出店した「から揚げ屋」は大盛況でした。OB・OGの皆様のおかげで歴史あるPCサークルとなりました。これからも情報化社会をリードしていきけるよう技術の向上を目指して行きます。

システム 工学研究会

部員55名

部長
片桐 秀樹



大盛況だった大学祭にて



平成4年 経営工学科卒業
(有)ハートフルハウス 篠々(るんるん)
総務部長

浅岡 道治氏

Michiharu Asaoka

「人の役に立ちたい」という 気持ちをビジネスに

真摯な姿勢で福祉の道へ

愛工大から西へ約5km、長久手町長湫の(有)ハートフルハウス篠々では、経営工学科卒業の浅岡道治さんが高齢者福祉業務に携わっています。

浅岡さんは平成4年に愛工大を卒業後、大手電機メーカーに就職。仕事は順調でしたが、「本当にやりたいことを見つけたい」と4年目に転職を決めました。退社後間もなく「ハートフルハウス篠々」代表と知り合い、「地域に根ざした場所を作りたい」という考え方に共鳴、設立に参加することになりました。平成8年のオープン時はスタッフが約10名。事業が軌道に乗るまでは給与面でも厳しい状態が続きましたが、「単に忙しいだけでなく、仕事にやりがいと充実感を感じました」という毎日。「平成12年に介護保険法が施行され、今でこそ私たちの仕事は広く認知されていますが、会社を立ち上げた当初は何もかもが手探りの状況でした。“どんな介護が必要とされているか”、“どうすれば多くの方に知ってもらえるか”などサービス内容のひとつひとつをじっくり吟味しながら作り上げてきました」と当時を振り返ります。

浅岡さんらの努力の結果、設立8年目の今年は100名以上のスタッフを抱える事業所に成長。事業内容として、自宅で生活するお年寄りや障害者の介護をおこなう居宅介護支援のほか、通所介護(デイサービス)、訪問介護、グループホームなどを手がけています。浅岡さん自身は現在、総務部長として事務全般を担っていますが、愛工大時代に学んだ労務管理や従業員の意識調査などが非常に役立っているそうです。

いつもの職場にて



人と地域との関わりを大切に

設立当初から守っていることがあります。それは「人間相手の仕事として、人と人、人と地域とのふれあいを重視する」姿勢。近年ではさまざまな建物や施設でバリアフリー化が進められ、それぞれに評価が高まっていますが、一方で「メンタルな部分のバリアフリーも大切なのではないのでしょうか」と浅岡さんは語ります。ハートフルハウス篠々の所在地である長久手は、若い世帯の住宅が密集すると同時に古くからの祭りが大切にされている町です。高齢者との関わりについて「年輩の皆さんが伝統行事に積極的に関わって、活躍できる場があるということは非常に重要だと思います」と地域への理解を呼びかけています。

今後の目標は「スタッフがもっと働きやすい環境を整えること」。人の役に立ちたいという「思い」に支えられてこそ続けられる仕事ですが、プロとして生活を成り立たせる必要があることを強調します。「同じ志を持ったスタッフたちが安心して働ける会社組織を整えること、それが今の私の使命ですね」と新たなステップに向けて生き生きとした笑顔で取り組んでいます。

GANBARU OB RU-OB

がんばる
OB



平成2年 機械工学科卒業
(有)マンエイ 取締役社長

柘植 満氏

Mitsuru Tsuge

シックハウスの予防と 改善に向けて活動中

思わぬ原因によってひき起こされるシックハウス

「多くの人にとって一生に一度の買い物である住宅が、病気の原因になってしまうなんて残念なことです」と話す柘植さんは、全国14支部で活動するNPO「シックハウスを考える会」の愛知・岐阜支部支部長を勤めています。一般的に「シックハウス症候群」とは「居住者の健康を維持するという観点から問題のある住宅において見られる健康障害の総称」と定義されています。具体的には住まいの中で目がチカチカして涙が出たり、喉や頭が痛んだり、疲労感・倦怠感を感じるといった症状が挙げられます。発症因子としては、建材や内装材から放散されるホルムアルデヒドやトルエンなどの物質が考えられますが、温度や湿度、気流などの影響を受け、これらの室内濃度は変化します。

快適な室内空気環境のために

「シックハウスを考える会」は平成12年にNPOとして誕生。愛知・岐阜支部では柘植さんが経営する有限会社マンエイに事務局を設置し、電話・FAX・メールなどによる無料相談を受付けています。また、必要があれば現地で測定後に改善方法をアドバイスするほか、相談者と住宅の管理元との交渉もおこなうなど、カウンセラー的な活動もおこなっています。

柘植さん自身がシックハウスに関心を持ったのは大学卒業後4年目のこと。当時はSEとして企業に勤務していましたが、ステップアップのために資格取得の勉強を続けながら、情

報収集のアンテナを大きく張っている時期でした。有限会社マンエイを設立し、業務を通じて建築業界のことを知れば知るほど、シックハウスについて学びたいという気持ちが強まったそうです。NPOの活動に際して「注意しなければならないのは、私たちは法的な代理人ではないことです。あくまでも双方の信頼の下に存在する仲裁役であるに過ぎません。つまり両者の話を聞き、人間としての信頼関係を築いていく必要があります」と柘植さんは徹底した現場主義を貫いています。

正しい知識と適切なケアをアドバイス

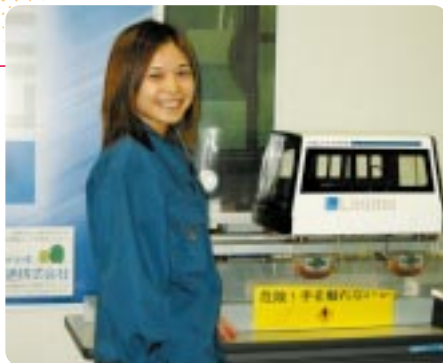
今後はシックハウスについて認知度を高めていきたいと話す柘植さん。症状は新築やリフォーム直後のみ現れるわけではありません。「数年経った住まいでも“体調がおかしいな”と思ったらぜひご相談ください」と呼びかけています。また、「シンポジウムなどを通じて一般の皆さんはもちろん、医療従事者への関心を喚起したい」と積極的に外部への情報発信をおこなっています。「シックハウスを考える会」では独自に「シックハウスアドバイザー」を創設し、化学・医学・法学・建築学などの関連知識を学んだ相談員の育成とスキルアップにも取り組んでいるとのこと。



建材とシックハウスの関係を解説

愛知高速交通(株)
川崎 美子氏
平成16年 電子工学科卒業

**「Linimo」の完成を
楽しみにしています**



リモの模型の前に

愛工大在学中、毎日バスの中から東部丘陵線Linimoの建設現場を見ていて興味を持ち、電気系統の保守員として就職しました。現在、『一般の鉄道の電気とは何か』を学ぶ為、名鉄の設備の点検・保守・補修をしている(株)メイエックで研修をさせて頂いています。通信・変電・信号・電路の現場研修を通じて鉄道についての知識を習得するうちに、いつの間にか電車が大好きになり、

充実した日々を送っています。現場に女性はいないので、不思議な目で見られたり、男性との体力の差を痛感することもたびたびありますが、それらを補えるくらいの知識や経験を積んでいこうと思います。Linimoが安全に運行出来るよう、早く一人前の技術者になって、Linimoの一端を担っていきたくと考えています。

**携帯電話を通じてよりよい
サービスを目指しています**

私がこの仕事を選んだのは学生時代にアルバイトをしていたことがきっかけでした。しかし、実際に仕事してみると、アルバイトとは違う仕事の厳しさを感じます。携帯電話



気持ちよいサービスに笑顔は欠かせません。(写真右が佐竹氏)

(株)クロップス
佐竹 未央氏
平成16年 電子工学科卒業

を買う、ということはたくさん自分の情報を預け、また携帯電話本体にもさまざまなプライバシー情報を入れることとなります。それを扱う仕事をしているという大切さを日々学んでいます。お客様は私たちを信用して情報を預けてください。その気持ちに応えられるように、ひとつひとつ接客するように心がけています。

私の仕事は携帯電話の契約から解約、修理の受付など、au全体の顔となっています。携帯電話という自分に身近なものを買う日は、お客様にとって特別な日だと思います。その特別な日を私の接客によって少しでもお手伝いできるよう、これからもお客様と接していきたいです。

(株)イノアックコーポレーション
宇佐見 恭浩氏
平成15年 大学院材料化学専攻修了

**材料のスペシャリストを
目標に日々奮闘中**



樹脂材料分野の開発をおこなう職場

私の勤めているイノアックはインパネ、バンパーなどの自動車部品や、パソコンの筐体などの情報機器部品、ゴム製品や住宅関連製品、ウレタン発泡品など多岐に渡る製品を提供している、いわゆるモルダーといわれる会社です。学生時代はポリウレタンエラストマーを研究してきた私ですが、「樹脂って結構奥が深いな」とウレタン分野には進まず、この高分子を扱う会社の特に樹脂材料分野の開発の仕事をしています。

現在の仕事は、樹脂特性や配合を調査し

て「成形」を考えた材料を開発しています。掘り下げるならば、高分子の構造(分子量や分子量分布、組成など)と成形性の相関や添加剤の選択から良成形性へのアプローチをしています。まだまだ勉強中の身で、知見と知見が結びつかない時もありますが、学生時代に身につけた知識も土台としながら日夜、成形や物性評価、分析と奮闘しています。掲げる目標は材料のスペシャリストです。

設計工房クレヨン・代表
柴田 純男氏
昭和48年 建築学科卒業

**『古き家に新しく住まう』
空間作りのお手伝い**

腕のいい職人が、伝統的な技術を駆使し、造ってきたものは修理可能な建物です。

昔から生き続けた木材を生かしたものと、新材との競演に本格的に関わらせていただいてから10年近くになろうとしています。それは、福井県上中町熊川宿(1996年・7月・重要伝統的建造物群保存地区に選定)との出会いから始まりました。古民家再生の言葉をどこでも耳にするようになってきている昨今、古い建物を再利用しようとする人々が次第に多くなってきています。古い家の修理、修復においては、柱・梁・土壁など素材一つ一つに風土の根ざした地域独自性のもの

があり、歴史と先達の職人技を紐解く楽しみがあります。住んでいる人が、いつも愛しく感じながら長い年月培ってきた家は、自然素材のみで出来ており、この自然の恵みに囲まれた生活空間を新しい生活にどこまで取り入れられるかが、まだまだ続く課題です。そして、先達が残した物を後世に伝えることが出来るように、出来る限り壊さずに直すことを、心がけようと思っています。

大学を卒業してから早30年、建築設計事務所を開設して16年、最近自分自身の建築に対する考えが変わろうとしています。



古い木材の魅力に魅かれて10年

※原稿をお寄せいただきました柴田 純男様は、9月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

同窓生からの投稿記事 特集

大学共同利用機関法人
自然科学研究機構 分子科学研究所

山中 孝弥氏

昭和55年 電子工学科卒業

上田 正氏

平成6年 電子工学科卒業

国際的基礎科学研究拠点を 支えるレーザー技術

基礎科学を支えるエンジニアリング

愛知県岡崎市に世界の基礎科学をリードする分子科学研究所があります。分子科学研究所は、物質の基礎である分子の構造とその機能に関する実験的研究並びに理論的研究を行うとともに、化学と物理学の境界にある分子科学の研究を推進するための中核として、広く研究者の共同利用に供することを目的として設立された文部科学省所管の大学共同利用機関法人です。その基礎研究を支えているのが愛工大で培われた技術なのです。

分子科学研究所技術課で活躍する山中及び上田両氏は、共に最先端レーザー装置などを用いた分光計測装置の開発を通して、基礎科学の探求に活躍しています。

平成15年度日本化学会 化学技術有功賞を受賞

急速な進歩を遂げるレーザー光源や軌道放射光の特性を常に熟知し、その性能を生かした様々な先進的分光計測装置の開発を行ってきた山中孝弥氏は、開発した装置が国立研究所および全国大学の研究者が行なう最先端の学術研究

のニーズに応え、さらに先端機器のシステム化によって容易かつ迅速な測定を可能として多くの研究者に貢献したことが認められ、同氏は日本化学会から化学技術有功賞を受賞しました。受賞理由となった主な功績は次のとおりです。

- (1) 高速トランジエントメモリを用いたナノ秒蛍光寿命測定装置の開発、(2) 軌道放射光のための時間分解分光測定システムの開発、(3) 極短パルスレーザーに関するメンテナンスと測定系の確立、(4) 先駆的オンライン共同利用機器予約システムの構築。

更なる飛躍を目指して

上田氏は、先輩であり、上司である山中氏の指導を受けながら、研究開発に取り組んでおり、研究成果は精力的かつ定期的に関係学会において発表を行なっている。特に最近開発した中赤外域の超短パルス波長可変レーザー装置は、国内外の分子科学研究者に高い評価を得ているそうです。学会では恩師の先生と議論することもあり、今後もより一層の学際的交流を深めていきたいとのことでした。



2004年分子構造総会討論会(京都)にて(上田氏)



日本化学界第84春季年会の表彰式にて(山中氏)

(株)日立ハイテクノロジーズ

川島 一朗氏

平成14年 大学院電気電子工学専攻修了

世界一の 半導体検査装置を目指して 開発に取り組んでいます

幼少から電子回路、特にデジタル回路に興味があり、大きな装置を作ってみようと思っていました。大学では、学部の頃電子工学科の加藤研究室で可変粘弾負荷装置(ゲームセンタにあるドライブシミュレータのハンドルに路面の状況に応じて力を伝える装置とお考え下さい)のデジタルコントローラの開発に取り組み、大学院の頃は同専攻の山田研究室にて超音波効果を用いた欠陥検出装置(超音波を使って、物体内部に潜む欠陥を非接触で検出する装置)の研究に取り組んできました。現在、日立ハイテクノロジーズのシステム開発部・大型データ処理システムグループ(デジタル回路を設計する専門部隊)にて、半導体検査装置の中で使われる画像処理回路の開発・評価を行っています。

ところで皆さん、日立ハイテクノロジーズをご存知ですか?ここは半導体製造現場でウエハ表面にある欠陥などの不良を検出する半導体検査装置や、医療現場で血液組成の分析に使われる血液分析装置等を設計・製造している所です。その中でも私が所属しているグループでは、半導体検査装置の画像処理部を設計しており、私はその画像処理部の心臓部にあたる画像処理回路を担当しています。

また、画像処理部は多数の人がいろいろな部位を担当して作り上げていきますので、設計時には、お互いの部位間のやり取り内容を明確にして仕

様を策定することが重要となってきます。そのため、画像処理回路の設計を行うに当たって、仕様の策定が最も苦労しました。画像処理回路は一台の画像処理部に沢山使われるため、高速かつ安定して動作することが求められます。そのため仕様策定や基板設計、マージン評価などのアナログ的な面に特に気を使いました。

今は半導体検査装置が完成し、出荷に向けてその動作検証を行っています。装置は長時間安定動作し、且つ競合他社に負けない高い検査スピードも要求されるので気を抜けない毎日を送っています。連日深夜まで動作検証をする日もありますが、そんな我々を支えているのは気合です(笑)。

今後は、装置出荷に向けいろいろと準備が必要になってきますが、完成に向けて一歩一歩邁進して頑張っていこうと思います。



「終了」といっても仕事中です



ナノピコ君と川島氏

（学進）
相城 啓志氏
平成4年 情報通信工学科卒業

鉄を切る刃物

紙を切るのには、はさみが必要でしょう、いやカッター等意見はありますが、同じように鉄を切る（削る）のにも刃物が必要です。その刃物がなければ、皆さんが日常何気なく使っている樹脂製品等は、存在しないといっても過言ではありません。

樹脂製品等は、金型とよばれる硬い鉄の塊で、その凹と凸を組み合わせて、そこに樹脂を流し込むことで作られます。その製品の基となる形状を作るのも、もちろん鉄を切る（削る）刃物です。それらは一般に、エンドミルやドリルといった工具です。ここではエンドミルについて、簡単に説明します。

エンドミルの種類は大別すると二種類に分けることができます。エンドミルの切れ刃の部分交換できるものと、そうでないものに分けることができます。例えば、カッターの切れ味が悪くなると、切れる部分だけ交換します。しかし包丁は切れ味が悪くなると、切れる部分は研ぎ直さなければなりません。したがって、切れ刃が交換できるものは、切れなくなった部分を交換するだけで、新品と同じ切れ味と、外径（エンドミルは円筒状）を維持できます。しかし、切れ刃が交換できないエンドミルは、切れ刃を再び研ぐことによって新品と同等の切れ刃を維持できますが、その反面、外径が小さくなります。

では、いったいエンドミルはどのような刃形をしているのでしょうか。エンドミルは機械にある軸に取り付けて、軸を回転させることで、鉄などを切って（削って）いきます。もしも、その刃形が包丁のように、柄の部分に対してまっすぐならどうでしょう。切るとき抵抗はそのまま直接切れ刃に加わるために、切れ刃が折れやすくなります。そこでエンドミルは刃先を螺旋状にすることで、その抵抗を和らげています。エンドミル全部がねじれているとは言い過ぎですが、一般に使われるエンドミルはそのような

刃形状をしています。刃の枚数も一枚からありますが、一般に使われるエンドミルは二枚刃、四枚刃、六枚刃といった偶数刃です。なぜ三枚刃等の奇数刃が、一般に使われないかと言いますと、外径の測定が困難であるからです。例えていうなら、四枚刃のエンドミルを正方形、三枚刃のエンドミルを正三角形とし、各頂点は同一円状にあるとすると、四枚刃のエンドミルの外径は円の直径、すなわち正方形の対角線になります。しかし、三枚刃のエンドミルの外径は回転の中心が、ちょうど正三角形の重心と重なります。従って外径を測ろうとしても困難なのは容易に分かるでしょう。そういうわけで、偶数の刃数のエンドミルが一般的に使われます。

最後に私が開発したエンドミルをインターネットで紹介していますので、ご覧ください。またそれをご覧になられた方で興味を持たれ、一緒に研究してみたい、論文を書いてみたい等ご意見、ご感想があれば幸いです。私も研究者としての道を歩んでいきたいと思っています。しかし幾分素人なのでその辺をご理解いただきたいと思います。現在は徳島県で研究を続けられる場所を探しています。HPアドレスは<http://webclub.kcom.ne.jp/mb/aiki/kikai.html>です。また、特許が取れそうなものがありましたらaiki@mb.kcom.ne.jpまで連絡ください。宜しくお願い致します。



鉄を切る男とその最愛の妻と息子

退職教員紹介 ●平成16年3月31日付で退職を迎えた先生方からのコメントをご紹介します。



土木工学科教授
大根 義男

本年の3月をもって定年を迎えましたが、続いて特任教授としてお世話になることになりました。私が本学に着任したのは昭和43(1968)年です。今日までの人生の約半分の36年間を教育界でお世話になったこととなります。本学はこの間に驚異的な発展を遂げましたが、このことは後藤淳前学長を中心とし、教職員が一丸となり、教育・研究及び社会活動に努力し、一方で同窓生の皆さんの社会における活動が高く評価されているからであります。今後は後藤泰之学長のご指導の元、一層の発展が期待されますが、小児化時代においてはなかなか大変なことであります。同窓会や後援会は大学に対し意見陳述のできる重要な機関であります。大学が発展するために必要な意見をお寄せいただくことこそ肝要と考えます。



基礎教育センター教授
川村 仁視

昭和34年、大学創設期に愛知工業大学に着任し、以来45年にわたり体育教育に従事し、主として人間の生命の尊厳について種々論じてきました。その間、大学の八草移転、学科の増設、学生運動あるいは大学改革と数多くの事柄にかかわり何となくあわただしい日々を送ったような気がします。健康第一と努めてきましたがこれからの人生はどうなりますことか。4月に退職してからのんびり好きなことができると思いましたが、外部団体の仕事を頼まれ思うに任せません。唯一時間を作っては、健康のため好きなゴルフを楽しんでいます。いつでもお相手をしませよ。またご希望があればレッスンも、ボランティアでやっていますから。4月には、名誉教授を授与され感謝しております。皆様方の活躍と健康を祈っています。



総合技術研究所 特任教授
吉川 俊夫

平成5年、化学企業を退職し、新設の総合技術研究所でプラスチックの使用寿命に関する研究を進めました。その結果について、マテリアルライフ学会から論文賞をいただきました。最近「長持ちする」プラスチックだけでなく「すぐ腐る（分解する）」プラスチックも商品化されているのは面白いことです。一方では、D科、M科の化学1、化学2の講義を担当しました。企業での研究・開発に大学での教育体験を加え、化学技術者として豊富な経験を積む事ができた事を感謝しています。



経営情報学科教授
田村 隆善

本年3月をもって退職致しました。8年の在職期間中、教職員の皆様からはいつもご厚情をいただき、感謝の念で一杯です。学生とのコンパ、テニス同好会、何よりキャンパスの四季の彩りは思い出深いです。新学部への改組と現在進行している大学院設置など、ますますの発展を期待しております。新しい勤務先は名古屋工業大学大学院工学研究科社会学専攻です。

退職教員 (H16年3月31日付)

土木工学科	教授	大根義男
基礎教育センター	教授	川村仁視
総合技術研究所	教授	吉川俊夫
建築工学科	教授	坂本順
経営情報学科	教授	田村隆善

新任教員

工学部		
機械学科機械工学専攻	教授	架谷昌信
機械学科知能機械工学専攻	教授	安田仁彦
都市環境学科土木工学専攻	教授	長瀬重義
都市環境学科建築学専攻	助教授	野々垣篤
経営情報科学部		
情報科学科 経営情報システム専攻	教授	野村健太郎
情報科学科 経営情報システム専攻	教授	大野勝久
情報科学科 コンピュータシステム専攻	教授	榎田倍之
基礎教育センター		
自然科学教室	教授	小木曾基式
総合教育教室	助教授	服部洋児

人事異動 (卒業生関係)

新任		
事務局倉庫課	事務職員	葛谷新一郎 (H14K)
愛工大付属中学	教諭	河内章浩 (H10C)
昇任		
マーケティング情報学部マーケティング情報専攻	教授	寺本和幸 (41E)
電気学科電子工学専攻	助教授	北村隆 (39R)
応用化学科応用化学専攻	助教授	安田伍朗 (41C)
機械学科機械工学専攻	助教授	古市裕司 (47M)
機械学科機械工学専攻	助教授	水谷充 (54M)
機械学科機械工学専攻	助教授	北川一敬 (H2M)
電気学科電気工学専攻	講師	中野寛之 (H10E)
愛知工業大学情報電子専門学校	教授	田中正史 (60E)
学生支援本部エクステンションセンター事務局	課長	大元司 (55K)
入試部入試広報課	事務主任	高間智美 (H7K)
入試部入試広報課	事務主任	岩科誠司 (H11M)
管理部	参与	高田宣章 (44C)
財務部会計課	事務主任	奥野佳宏 (H10K)
学位取得		
情報科学科経営情報システム専攻	教授	近藤高司 (48K)

瑞若会事業報告

本部の会議

- 【H15年度】
- H16.2.26 第4回事務局会議開催
 - H16.2.26 第4回総務常任委員会開催
- 【H16年度】
- H16.5.27 第1回事務局会議開催
 - H16.5.27 第1回総務常任委員会開催
 - H16.6.19 「瑞若会」理事会開催
(名古屋ガーデンパレス)
 - H16.6.19 支部長会議開催(名古屋ガーデンパレス)
 - H16.7.29 第2回事務局会議開催
 - H16.7.29 第2回総務常任委員会開催
 - H16.10.28 第3回事務局会議開催
 - H16.10.28 第3回総務常任委員会開催

- 【平成16年度】
- H16.4.16 職場支部への参加「中部電力愛工大同窓会」
 - H16.5.23 地域支部への参加「関東支部総会」
 - H16.7.2 職場支部への参加「近藤グループ愛工会」
 - H16.7.10 地域支部への参加「中・四国支部懇親会」
 - H16.9.18 静岡支部総会(グランドホテル浜松)

その他

- 【平成15年度】
- H15.11.14 愛知県私立大学同窓会連合会
事務局長会議開催
 - H16.2.6 建築学科同窓会総会
 - H16.3.16 愛知県私立大学同窓会連合会
事務局長会議開催

【平成16年度】

- H16.4 同窓会管理システム改新
- H16.4.26 私立大学同窓会連合会三役会開催
(ホテルキャッスルプラザ)
- H16.6.13 愛知大学同総会2004全国総会出席
(白鳥センチュリーホール)
- H16.7.9 私立大学同総会連合会平成16年度総会
(ホテルキャッスルプラザ)
- H16.8.28 岐阜AITオープンフォーラム
(岐阜グランドホテル)
- H16.9.4 関西AITオープンフォーラム
(京都タワーホテル)
- H16.9.11 三重AITオープンフォーラム
(四日市都ホテル)
- H16.9.18 静岡AITオープンフォーラム
(グランドホテル浜松)
- H16.9.25 中国・四国AITオープンフォーラム
(岡山口イヤルホテル)
- H16.10.2 北陸AITオープンフォーラム
(ホテルイン金沢)

学内事業・行事

- 【H15年度】
- H15.12.12 「みずわかvol36」会員へ郵送(35,879名)
 - H16.2.27 愛知工業大学後援会OB会出席
 - H16.3.23 平成15年度卒業式「瑞若賞」贈呈・
卒業生名簿配布
- 【平成16年度】
- H16.4.5 平成16年度入学式で新生入生に会報
「START-UP」配布
 - H16.4 新会員のデータ入力
 - H16.4 新会員の同窓会費入金処理
 - H16.4.30 第1回「みずわか」編集委員会開催
 - H16.10 愛工大祭開催への援助
 - H16.10.27 第2回「みずわか」編集委員会開催

支部事業

- 【平成15年度】
- H16.1.24 地域支部への参加
(中国・四国支部新年懇親会出席)

会員計報

電気工学科	杉山 彰敏 (S60年卒)	H13.3	逝去	経営工学科	加藤 博文 (H01年卒)	H15.1	逝去
電子工学科	岡本 和好 (S47年卒)	H15.12	逝去	建築学科	柴田 純男 (S48年卒)	H16.9	逝去
応用化学科	油谷 啓治 (S52年卒)	H15.6	逝去	建築学科	京島日出男 (S48年卒)	H16.10	逝去
機械工学科	伊藤 堯彦 (S40年卒)	H11.6	逝去				
機械工学科	大畑 一夫 (S43年卒)	H16.2	逝去				

平成15年度決算書 収支計算書 平成15年4月1日から平成16年3月31日まで ～経常経費～ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
入会金(基本金)	5,000,000	4,968,000	△32,000	
終身会費	25,000,000	24,840,000	△160,000	
年会費	10,000	7,000	△3,000	
受取利息	200,000	177,234,553	△22,447	
雑収入	0	0	0	
名簿売却収入	0	24,000	24,000	
当期収入合計①	30,210,000	30,016,553	△193,447	
前期繰越金②	51,467,658	51,467,658	0	
収入合計①+②	81,677,658	81,484,211	△193,447	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費				
学科・支部援助費	2,500,000	2,429,876	△70,124	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
会報発行費	7,000,000	5,989,830	△1,010,170	
卒業記念品費	800,000	793,800	△6,200	
準会員支援費	1,500,000	900,000	△600,000	
名簿管理・IT関連費	1,500,000	1,260,000	△240,000	
(小計)	13,900,000	11,973,506	△1,926,494	
事務費				
人件費	1,200,000	1,076,360	△123,640	
消耗品費	600,000	691,767	91,767	
会議費	2,000,000	322,369	△1,677,631	
慶弔費	400,000	392,875	△7,125	
私大同窓会連合会費	150,000	135,000	△15,000	
雑費手数料	100,000	73,728	△26,272	
(小計)	4,450,000	2,692,099	△1,757,901	
予備費	400,000	0	△400,000	
基本積立金へ	5,000,000	4,968,000	△32,000	入会金
当期支出合計③	23,750,000	19,633,605	△4,116,395	
当期収支差額④(①-③)	6,460,000	10,382,948	3,922,948	
名簿発行・40周年準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	54,927,658	58,850,606	3,922,948	
支出の部合計③+⑤+⑥	81,677,658	81,484,211	△193,447	

平成15年度決算書 収支計算書 平成15年4月1日から平成16年3月31日まで ～基本積立金～ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	5,000,000	4,968,000	△32,000	
前期繰越金	155,740,087	155,740,087	0	
収入の部合計	160,740,087	160,708,087	△32,000	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	160,740,087	160,740,087	△32,000	
支出の部合計	155,148,087	155,740,087	△32,000	

平成15年度決算書 収支計算書 平成15年4月1日から平成16年3月31日まで ～名簿発行・40周年準備金～ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
定期総会・懇親会参加費	1,400,000	924,000	△476,000	
経常経費からの繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	5,000,000	5,000,000	0	
収入の部合計	12,400,000	11,924,000	△476,000	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
案内状郵送料	2,800,000	2,089,533	△710,467	
定期総会・懇親会費	3,000,000	2,115,670	△884,330	
次期繰越金	6,600,000	7,718,797	1,118,797	
支出の部合計	12,400,000	11,924,000	△476,000	

次期繰越額	
内訳明細	金額
基本積立金	160,708,087
経常経費	58,850,606
名簿発行・40周年準備費	7,718,797
合計	227,277,490